

第16回 あきたエコ&リサイクルフェスティバル

秋田の豊かな自然や省エネ・新エネ・3Rなどに関する情報発信を通じ、環境を大切にする気持ちを育て、おとなも子どもも一緒に楽しみながら「環境」について学習できる場を提供することを目的として、県民、民間団体、NPO法人等と連携し、開催している「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」に参画しました。

【概要】

- 1 開催日時 平成28年9月3日（土）、4日（日）10:00～16:00
- 2 開催場所 秋田駅前アゴラ広場、買物広場大屋根「ビックルーフ」
- 3 主催 あきたエコ&リサイクルフェスティバル実行委員会
NPO法人環境あきた県民フォーラム、秋田県（事務局：生活環境部温暖化対策課）、秋田市、秋田大学、
（一財）秋田鉱業会、（公社）食品容器環境美化協会、（一社）秋田県産業廃棄物協会の計7団体
- 4 来場者 約27,000人
- 5 協賛企業・団体数 44
- 6 出展企業・団体数 40
- 7 開会コンセプト『もっとエコを話そう！楽しもう！』
- 8 主なステージイベント
 - ・1日目 環境大賞表彰式、大道芸パフォーマンス、天達武史さんのトークショー等
 - ・2日目 超神ネイガーショー、pramo ライブ、ブラボー中谷マジックショー等
 - ・両日 アニマルパフォーマンス、出展ブースインタビュー等



【産廃協会ブース出展】

残暑厳しい9月の第一土曜、日曜日。当協会青年部が主体となって今年もブース出展をしました。

今年の協会ブースは、廃棄物の不法投棄防止活動（クリーンアップ）のパネル展示や産廃業界で活躍する車両を展示し試乗体験を行う等、当協会事業の取り組みを県民の皆様へ紹介しました。



また、電気の大切さを知ってもらおうと平成25年から実施している自転車型の「人力発電かき氷機」を今年も設置し、ペダルをこいで発電した電力でかき氷をつくる体験に、参加者からは「毎年協会のブースを楽しみに参加しています。これからも頑張ってください！」との嬉しいコメントがよせられました。



発電作業は大変だけど、こぎ終わった時はみんな「笑顔」です！



今回からオリジナルのかき氷を作ろうと、トッピングの材料となるお菓子を「産業廃棄物の品目」に見立て7種類提供しました。世にも珍しい「さんばいかき氷」に、老若男女問わず喜んでいただけました。

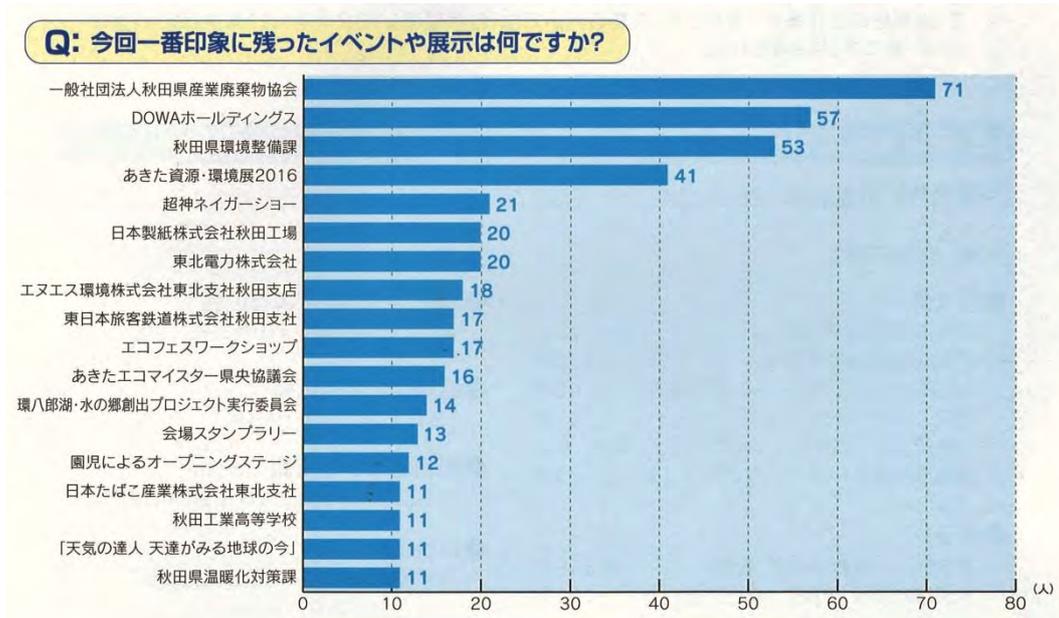


当協会ブースの来場者は2日間で400人を超え、家族連れや学生など幅広い年齢の方がお立ち寄り下さいました。当日、ご来場下さった皆様、ありがとうございました。

今回で4回目となる「人力かき氷」ですが、主催する県が行った来場者アンケートの「一番印象に残ったイベント・展示」で1位に選ばれ、4年連続トップと高評価をいただいております。

秋田県産業廃棄物協会は、環境保全に貢献する団体として、今後とも環境教育活動に積極的に取り組んでまいります。

第16回あきたエコ&リサイクルフェスティバル 来場者アンケート結果



協会ブース来場者アンケート結果 (回答数 296人)

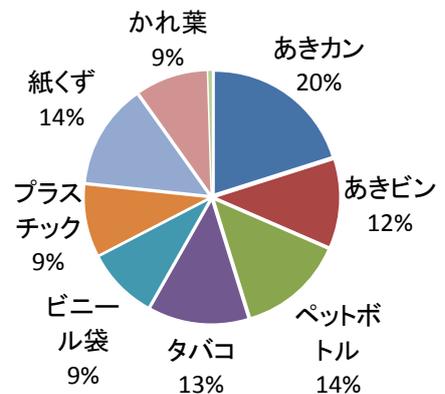
Q あなたはごみ拾いなど「クリーンアップ活動」をしたことがありますか?

- ・ある (212人)
- ・ない (76人)
- ・無回答 (8人)

上記で「ある」と答えた方。

Q その時に拾ったごみは何でしたか? (複数回答可)

- ・あきカン (129人)
- ・あきビン (74人)
- ・ペットボトル (88人)
- ・ビニール袋 (59人)
- ・タバコ (83人)
- ・プラスチック (60人)
- ・紙くず (87人)
- ・かれ葉 (60人)



Q 来年このブースでやってもらいたいことは何ですか? (複数回答可)

- ・人力発電かき氷 (245人)
- ・ごみの分別クイズ (38人)
- ・エコ輪投げ (50人)
- ・あきカン釣りゲーム (49人)
- ・その他 (3人)

